2006 年と 2016 年に実施したアンケート結果に見る
市庁舎の市民空間の利用に関する変化TRANSITIONAL CHANGE IN THE USE OF CITIZEN SPACES IN CITY HALLS OBSERVED
THROUGH QUESTIONNAIRE SURVEYS CONDUCTED IN 2006 AND 2016船 曳 悦 子^{*1}, 片 山 一 郎^{*2}, 松 本 直 司^{*3}*Etsuko FUNABIKI, Ichiro KATAYAMA and Naoji MATSUMOTO*

This study compared results of two questionnaire surveys conducted in 2006 and 2016 respectively, which asked about the use of city halls and citizen spaces. The result revealed no significant change as a whole as to how the city halls and citizen spaces have been utilized. Also, no notable characteristics based on locality or population size differences were observed. The roles of citizen spaces in city halls in the daily life of community residents are identified to remain stable and not to be significantly affected by experiences of natural disasters or time within the span of a decade.

Keywords : City Hall, Citizen Space, State of Utilization, Operation Policy, Questionnaire

市庁舎建築, 市民空間, 利用状況, 運用方針, アンケート

1. はじめに

1-1 研究の背景と目的

1999年に公布された「市町村の合併に関する法律(旧・合併特例法)」によって市町村合併が進められてきた。われわれは、同法が期限を迎えた直後の2006年7月に、市庁舎や市民空間の役割と必要性、あり方を明らかにすることを目的として、市庁舎管理部局担当者に対してアンケート調査を行った¹⁾。市庁舎は、平常時において様々な支援やサービスを提供する中核的な公共施設であると同時にそれを支える職員の執務空間である。近年はインターネットによる自治体からの情報提供やコンビニエンスストアでの各種書類の交付サービスが一般化しているが、各種手続き、相談、質問といった市職員との直接のやりとりは必ず発生する。さらに市庁舎は、単に行政サービスを提供するだけでなく、市民活動を支える協働・交流機能も担っている。災害時においては、災害対策の指揮および情報伝達の中核機能を担うとともに、中核機能を支える資材や食料の備蓄および避難者や支援者への対応など、防災拠点の役割を果たすことから、市民の安心・安全を支える拠点でもある²⁾。

前回実施のアンケート調査から10年が経過し、その間に東日本大震災、熊本地震、台風水害や豪雨水害など様々な自然災害の発生により、市庁舎の市民空間の利用内容に大きな変化が生じている可能性があることから、これを確認するために、われわれは、2006年に実施したアンケート調査の項目に自然災害にともなう市庁舎および市民空間の使用に関する変化の有無を問う項目を追加して、2016年

Fig.1 Cities surveyed

に2度目のアンケート調査を行った。

本稿では、2006年と2016年のアンケート調査結果を比較し、市庁舎の市民空間の利用に関する変化の有無および自然災害との関連性について明らかにすることを目的とする。なお、アンケート調査で

^{*1} 大阪産業大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科
准教授・博士(工学)

^{*2} 近畿大学生理工学部 准教授・博士(学術)

^{*3} 名古屋工業大学 名誉教授・工博

Assoc. Prof., Architecture and Environmental Design Dept., Faculty of Design
Technology, Osaka Sangyo Univ., Dr.Eng.

Assoc. Prof., Dept. of Human Factors Engineering and Environmental Design, Faculty
of Biology-Oriented Science and Technology, Kindai Univ., Ph.D.

Prof. Emeritus, Nagoya Institute of Technology, Dr.Eng.

は、市民空間を「市庁舎において、市民が特定の用がなくとも自由に利用できる場所」と定義し、各市に市民空間として認識されている空間について回答を求めた。

1-2 既往研究

建築計画分野において市庁舎建築を扱った近年の研究は、市町村合併に伴う市庁舎再編に関する各市の事例を扱ったものが多い^{3,4)}。その他には、市庁舎の更新の実態やその手法について述べた森定らの研究⁵⁾、長らの研究⁶⁾がある。また、その実態を把握するために市職員に対しアンケート調査を実施した加藤らの研究⁷⁾がある。近年の災害による市庁舎整備の検討を目的として各市の事例を扱った三橋の研究⁸⁾、市職員に対しアンケート調査を行い、災害時に市庁舎機能を継続するための取り組み実態と課題を明らかにした高田らの研究⁹⁾がある。

これらの研究に対して本稿は、市庁舎の市民空間の使われ方について経時的に比較しており^{1,10)}、この10年間で市民空間の変化を考察するものである。政令指定都市は、都道府県の権限の多くを委譲された行政区分であり、区役所が設置されている。また、市に準ずる特別区は都の内部機関としての一面を有する。そのため、政令指定都市と特別区における庁舎は、一般的な行政区分である「市」における市庁舎とは役割が異なると考えられる。2006年の時点で、政令指定都市および特別区を除く「市」の人口は、総人口の約65%を占めており、その内人口10万人以上の中都市の人口は、約66%であった。市民へのサービスの安定性は、その自治体の財政基盤の強さに依存するが、財政力指数を見ると、人口10万人以上の中都市と人口10万人未満の小都市とは大きな隔りがある¹¹⁾。そこで、本研究では、調査分析対象として、一般的な「市」の過半の人口を擁し、安定的な財政基盤を有する中都市に注目した。

2. 市民空間の利用に関するアンケート調査

2-1 調査の概要

アンケート調査内容^{12,13)}を以下に示す。(1)調査目的：市庁舎の市民空間の現状を把握するために、市庁舎管理局の担当者に対し、「市庁舎（本庁舎）の市民空間の利用に関するアンケート」調査を実施した。調査概要を表1に示す。調査項目：アンケート調査において、「市民空間の計画条件」として市民空間の名称、市庁舎竣工年代、市民空間面積、市民空間の室機能、「市民空間の運用状況」として、利用可能日、催事開催状況、市民空間の利用頻度、「市民空間の運用方針」として、市民空間の利用の現状、現状の問題点、管理上望ましい利用方法、市民空間としての理想について回答を求めた。(2)調査対象：第1回目は、2005年12月時点の政令指定都市を除く人口10万人以上の235市を対象とした¹⁴⁾。調査実施時に人口が10万人未満に減少した市も一部含まれる。配付数は235市、回収数は166市、回収率は70.6%であった。第2回目は、第1回目の調査で回答のあった166庁舎を調査対象とした。(3)調査方法：各市の市庁舎管理局の担当者へ郵送によるアンケート調査を行った。配付数は166市、回収数は119市(図1)、回収率は71.7%であった。(4)調査期間：第1回目は、2006年7月1日～7月31日、第2回目は2016年9月1日～2017年2月28日である。

2-2 市民空間の計画条件および運用状況の比較

市民空間の名称(図2)、市庁舎竣工年、市民空間面積、市民空間

Table 1 Survey overview

調査対象者 Study target 市庁舎管理局担当者 Administrator in charge	調査対象 Survey target 2006年7月、政令指定都市を除く、人口10万人以上の235市にアンケートを行い回答があった166庁舎に対して実施した。 In July 2006, we conducted questionnaires to 235 cities with population over 100,000, excluding cabinet designated cities, and carried out a questionnaire to 166 cities that responded.
調査期間 Investigation period 1. 2006. 7. 1～7. 31 2. 2016. 9. 1～2017. 2. 28	
配布数 Distribution number 1. 235 2. 166	調査方法 Survey method 各市庁舎管理局の担当者に郵送で送付し、同封の返信用封筒にて返信してもらい回収を行う。 Send it by mail to the person in charge of each city hall administration department, ask them to reply by the enclosed reply envelope and collect them.
回収数 Collected number 1. 166 2. 119	
回収率 Collect rate 1. 70.6% 2. 71.7%	
調査項目 Survey item 1. 市民空間の計画条件:市民空間の名称, 市庁舎竣工年, 市民空間面積, 市民空間の室機能 Planning conditions for citizen space: Name of citizen space, Year of completion of city hall, Citizen space area size, Room function of the citizen space 2. 市民空間の運用状況:利用可能日, 催事開催状況, 市民空間の利用頻度 Operation policy of the citizen space: Open days of citizen space, Events held at the citizen space, Frequency of use of the citizen space 3. 市民空間の運用方針:市民空間の利用の現状, 現状の問題点, 管理上望ましい利用方法, 市民空間としての理想 Operation policy of the citizen space: Present usage status of the citizen space, Current issues concerning the use of the citizen space, Desirable use of the citizen space in terms of management, Ideal use of the citizen space	

用途別 Use application	回答例 Answer Example
エントランス系 [18/17] Entrance	玄関ホール Entrance hall 玄関ロビー Entrance lobby エントランス Entrance エントランスホール Entrance hall
ロビー・待合系 [49/68] Lobby & Waiting	ロビー Lobby 市民ロビー Citizen lobby 待合ロビー Waiting lobby 市民ラウンジ Citizen lounge ラウンジ Lounge 待合ホール Waiting hall 待合スペース Waiting space 待合コーナー Waiting corner 待合 Waiting
ホール系 [51/36] Hall	ホール Hole 市民ホール Citizen hall 多目的室 Multipurpose room 多目的スペース Multipurpose space 多目的コーナー Multipurpose corner
相談系 [11/15] Consultation	市民サロン Citizen salon 市民相談室 Citizen counseling room 市民談話室 Citizen lounge office 市民交流スペース Citizen interaction space 市民交流ロビー Citizen exchange lobby ミーティングスペース Meeting space コミュニティスペース Community space
商業系 [17/13] Commercial	食堂 Dining room 売店 Shop 食堂・売店 Dining hall, Shop レストラン Restaurant
情報・展示系 [8/15] Information & Special exhibition	ギャラリー Gallery ふれあいギャラリー Fureai gallery 市民ギャラリー Citizen gallery 展示スペース Exhibition space 美術コーナー Art corner 情報公開コーナー Information disclosure corner 市民ふれあいプラザ Citizen contact plaza 生涯学習テラス Lifelong learning terrace 広報コーナー Public information corner 市政資料室 Municipal administration data room
展望施設系 [17/18] Observation facility	展望ロビー Observation lobby 展望ホール Observation hall 展望室 Observation room 展望塔 Observation tower 展望回廊 Observation corridor 展望フロア Observation floor
その他 [6/33] Other	シビックモール Civic mall 市民デッキ Citizen deck 市民プラザ Citizen plaza 喫煙 Smoking 休憩 Break 授乳・キッズコーナー Breastfeeding, Kids corner 広場 Plaza 多目的トイレ Multipurpose toilet 図書コーナー Book corner フリースペース Free space Answer example is based on the major answer.

[2006(Total:190(Non-response:13)/2016(Total:215), Multiple answers]

Fig.2 Name of citizen space

Fig.3 Name of citizen space

Fig.4 Year of completion of city hall

Fig.5 Area size of citizen space

Fig.6 Room function of the citizen space

Fig.7 Open days of the citizen space

Fig.8 Events held at the citizen space

Fig.9 Frequency of use of the citizen space

の室機能、利用可能日、催事開催状況、市民空間の利用頻度の各項目について、選択肢または数値による回答を求めた。それらの結果の比較を図3から図9に示す。2006年、2016年それぞれの回答割合について、カイ二乗分布を用いた適合度の検定を行ったところ、図3から図9に挙げたいずれの項目も、有意な差は見られなかった。つまり、この10年間で市民空間の計画条件および運用状況には、全般的には大きな変化がないことがわかる。しかし、詳細に検討すると多少の差異が見られる。以下にその内容を示す。

庁舎が予定されているのは、「1950年代」の10件のうち7件(70%)、「1960年代」の23件のうち6件(26.1%)、「1970年代」の30件のうち5件(16.7%)、「1980年代」の21件のうち1件(4.8%)である。財務省令によると、公共施設(事務所用)の耐用年数は50年である¹⁵⁾。1950、60年代の建物は、近年の自然災害を機に耐震診断が進み、新庁舎建設の優先順位が上がったといえる。市民空間面積(図5)は、2016年では「250 m²未満」が68%(126件)で最も多く、「250 m²~500 m²未満」が18%(34件)、「750 m²以上」が9%(17件)と続く。2006年と比較すると、「250 m²未満」の割合が増加し、「500 m²~750 m²未満」の割合が減少していることから、小規模な市民空間が増える傾向が見られる。市民空間の室機能(図6)は、2016年では「休憩」が25%(128件)で最も多く、「待合せ」が17%(84件)、「展示」が16%(83件)でほぼ同じ、「手続きのための待合」が14%(73件)と続く。「手続きのための待合」、「待合せ」、「休憩」で全体の5割以上を占めている。静的な滞留行為が室機能の中心となっており、2006年とほぼ同じ傾向である。

市の視点からの市民空間の運用状況として、利用可能日(図7)は、2016年では「平日のみ」が69%(148件)である。次に、「ほぼ年中」が17%(36件)であった。2006年と比較して、「平日のみ」がわずかに減少しており、「平日と土曜日」、「平日と日曜日」が微増している。催事開催状況(図8)は、2016年では「行っていない」が55%(116件)で最も多く、「3ヶ月に1回以上」が12%(25件)と続く。実施の有無の割合は、2006年とほぼ同じ傾向である。利用頻度(図9)は、2016年では「よく利用されている」が50%(106件)、「利用されている」が29%(62件)、両方で8割近くに達していることから、市は、市民空間の状況を市民に利用されている空間であると把握しており、2006年とほぼ同様であった。

2-3 市民空間の運用方針の比較

市庁舎管理部署局担当者に対して「市民空間の運用方針」について、

Table2 Operation policy of the citizen space

項目 Item	キーワード Keyword	回答例 Answer example
市民空間の利用の状況 Present usage status of the citizen space	催しもの・展示 [43/41] Special event, Exhibition	展示、コンサート、特産物の販売 Exhibition, Concert
	地域活動拠点 [7/10] Regional activity base	文化活動の場 Place for cultural activities
	情報 [20/16] Information	情報掲示、市政PR Information posting, City administration PR
	設置物 [10/7] Installed matter	設置物の利用 Use of installed objects
	憩い・くつろぎ [11/7] Relaxation	ふれあいの場、憩い、くつろぎ、団らん、集い Place of contact, Relaxation
	交流・相談 [12/10] Exchange, Consultation	交流、相談、打合せ Exchange, Consultation, Appointment
	休憩 [13/17] Break	休憩 Break
	待合 [25/22] Waiting	待合 Waiting
	飲食 [3/4] Food & drink	食堂、売店、喫茶 Dining hall, Shop, Cafeteria
	安全・バリアフリー [1/1] Safety, Barrier-free	バリアフリー、ユニバーサルデザイン Barrier-free, Universal design
	空間利用 [5/12] Space use	避暑地としての利用、子育て支援室の利用、室の計画と配置 Child-rearing support room
	快適 [0/1] Comfortable	快適性 Comfortable
	利用制限がない [0/18] There is no usage restriction	開放、自由、気軽に利用 Open, Freedom
	特になし [18/14] Nothing special	ほとんど有効に利用されていない、長時間の居座り、 Not used effectively, Long period sitting
現状の問題点 Current issues concerning the use of the citizen space	空間が狭い [27/30] Space is narrow	スペースが狭い Space is narrow
	空間の未確保 [8/9] Space is not secured	空間が確保されていない、子育て関連の空間がない、 Space is not secured
	空間用途の混在 [3/6] Mixed space applications	空間用途の混在 Mixed space applications
	利用動線 [2/3] Usage line	利用動線に問題がある Problem with use flow line
	庁舎の老朽化 [16/10] Old aged building	庁舎の老朽化、採光・照明設備の問題、空調設備の問題 Old aged building
	バリアフリー [4/2] Barrier-free	バリアフリー対策 Barrier-free measures
	セキュリティ対策 [11/18] Security measures	セキュリティ対策、防犯・防火、利用規定 Security measures
	長期滞在者への対応 [21/21] Response to long-term residents	長期滞在者への対応、空間を占有する人がいる Response to long-term residents
	利用者モラル [8/9] User moral	利用者のモラル、清潔に保つ必要がある、ゆとりや快適がない User moral, There is no clearance or comfort
	利用制限がある [7/12] There are usage restrictions	使用時間と用途に制限がある、 There are usage restrictions
	情報 [0/3] Information	情報展示方法の煩雑性、情報発信 Transmission of information
	特になし [12/11] Nothing special	問題点はなし、特になし Nothing special
管理上望ましい利用方法 Desirable use of the citizen space in terms of management	催しもの・展示 [17/11] Special event, Exhibition	展示、イベント、コンサート Exhibition, Event, Concert
	地域活動拠点 [3/10] Regional activity base	市民活動・文化活動の場、市民活動の拠点 Citizen activity base
	情報 [18/17] Information	市政情報の場、情報交換、情報検索 Information retrieval
	憩い・くつろぎ [14/10] Relaxation	憩い、ゆとり・リラククス・ゆつくり、くつろぎ Relaxation
	交流・相談 [10/17] Exchange, Consultation	交流・ふれあい、打合せ・談話・コミュニケーション・団らん Exchange, Consultation, Communication
	休憩 [7/13] Break	休憩 Break
	待合 [8/16] Waiting	待合 Waiting
	飲食 [0/3] Food & drink	飲食 Food & drink
	安全・バリアフリー [4/3] Safety, Barrier-free	安全性、バリアフリー Safety, Barrier-free
	防災・避難 [2/1] Disaster prevention, Evacuation	災害時の避難場所 Evacuation place in case of disaster
	セキュリティ対策 [15/16] Security measures	セキュリティ対策、秩序への配慮、規則に基づいた使用 Security measures
	空間利用 [6/5] Space use	多目的利用に適した空間、空間区分、部署の一元化 Space suitable for multipurpose use
	快適 [1/3] Comfortable	快適性 Comfortable
	利用制限がない [25/19] There is no usage restriction	誰でも気軽に使用できる場、制限がない利用、開かれた空間 There is no usage restriction
	特になし [4/1] Nothing special	今のままでよい、特になし Nothing special
市民空間としての理想 Ideal use of the citizen space	催しもの・展示 [7/2] Special event, Exhibition	催し、イベント、展示 Special event, Exhibition
	地域活動拠点 [5/8] Regional activity base	市民活動の場、地域拠点 Citizen activity base
	情報 [13/16] Information	情報を発信・収集・提供、市政PR Sending, collecting and providing information
	憩い・くつろぎ [21/21] Relaxation	憩いの場、ゆとり・リラククス・ゆつくり、くつろぎ・安らぎ Rest area, Relaxation
	交流・相談 [16/18] Exchange, Consultation	交流、ふれあい、相談 Exchange, Consultation
	休憩 [4/5] Break	休憩 Break
	待合 [7/1] Waiting	待合 Waiting
	飲食 [0/1] Food & drink	飲食 Food & drink
	安全・バリアフリー [19/17] Safety, Barrier-free	安心・安全、バリアフリー、モラル、清潔 Safety, Barrier-free, Moral
	防災・避難 [0/4] Disaster prevention, Evacuation	防災・一時避難、非難時に使用できる場、スムーズな動線の確保 Disaster prevention, Evacuation, Secure smooth flow line
	使いやすい [39/63] Easy to use	誰でも気軽に使用できる場、利用しやすい、自由 Place where anyone can use it easily, Easy to use, Freedom
	空間利用 [11/5] Space use	多目的な用途、室の区画、広いスペース、順応ある空間 Multipurpose use, Large space
	快適・居心地 [14/13] Comfortable	快適・居心地、明るく開放的、堅いイメージがない Comfortable
	特になし [8/8] Nothing special	今のままでよい、特になし Nothing special

[2006/2016] Answer example is based on the major answer.

Fig.10 Present usage status of the citizen space

Fig.11 Current issues concerning the use of the citizen space

Fig.12 Desirable use of the citizen space in terms of management

Fig.13 Ideal use of the citizen space

自由記述による回答を求めた。アンケートの質問事項は、(1)市民空間が有効に利用されていると思われる点を「市民空間の利用の現状」、(2)市民空間の問題点を「現状の問題点」、(3)望ましいと思う

Table 3 Cities comprising respective clusters
–Present usage status of the citizen space–

Cluster1		16 Fukui	27	06 Fuijeda	13
06 Iwaki	36	06 Takarazuka	22	06 Naha	31
06 Asahikawa	36	06 Kisarazu	12	16 Amazasaki	46
06 Inazawa ○	14	16 Kisarazu	13	16 Hino	18
16 Yokote	9			16 Hakusan	11
16 Abiko	13	Cluster3		06 Hachioji	54
06 Kishiwada	20	16 Iwaki	33	16 Hachioji	56
06 Kuwana	14	16 Asahikawa	35	16 Hachinohe	24
16 Takatsuki	36	16 Iga	9	16 Handa	12
16 Mihara	10	06 Ichinomiya ○	37	06 Iida	11
16 Shunan	15	16 Inazawa	14	16 Iida	10
16 Kasugai	31	16 Uji	19	06 Hamamatsu	79
16 Oyama	17	06 Utsunomiya	45	16 Hamamatsu	81
06 Komaki	14	06 Ube ○	18	06 Toyoma ○	42
06 Matsuyama	51	16 Shimonoseki	27	16 Toyama	42
06 Nishio	10	06 Kawachinagano	12	06 Fuii	24
16 Aomori	29	16 Kawachinagano	11	06 Tondabayashi	12
06 Ome	14	06 Aizuwakamatsu	13	06 Fuchu ○	24
06 Chikusei	11	16 Kakamigahara	15	06 Fukui	27
06 Nagasaki	46	06 Kakegawa ○	12	16 Fukushima	29
06 Higashiroshima ○	18	06 Kamakura	18	06 Yonago	15
06 Handa	12	16 Kamakura	18	16 Yonago	15
16 Onomichi	14	16 Chigasaki	24	06 Toyota ○	40
16 Fuji △	26	16 Kariya	15	06 Minoh	13
16 Tondabayashi	11	16 Kishiwada	20	16 Minoh	14
16 Takarazuka	23	06 Kanazawa	44	06 Akashi	29
		16 Kanazawa	45	06 Noda	15
		16 Kushiro	18	16 Noda	16
		16 Kuwana	14	06 Nagareyama	15
		16 Kure	23		
Cluster2		06 Ebetsu	12	Cluster4	
16 Isehara	10	16 Ebetsu	12	06 Anjo	17
06 Uji	19	16 Takasaki ○△	38	16 Anjo	19
16 Ube	17	06 Takatsuki	35	06 Iga	10
16 Habikino	11	16 Imabari	16	06 Isehara	10
06 Urayasu	15	06 Sasebo	26	16 Ichinomiya	39
16 Urayasu	16	16 Sasebo	26	16 Utsunomiya △	52
06 Kakamigahara	15	16 Sakura	18	06 Habikino	12
16 Kakegawa	12	06 Zama	13	06 Yokote	11
06 Marugame	11	16 Zama	13	06 Shimonoseki ○	29
16 Marugame	11	06 Misato	13	06 Abiko	13
06 Kushiro	19	16 Misato	14	16 Aizuwakamatsu	12
06 Kumagaya	19	06 Mitaka	17	06 Chigasaki	23
16 Kumagaya	20	06 Mishima	11	06 Kariya	14
06 Kure ○	25	16 Mishima	11	16 Kochi	34
06 Takasaki ○	34	06 Yamaguchi ○	19	06 Imabari ○	18
06 Kocho	33	16 Yamaguchi ○△19		06 Mihara ○	10
06 Sakura	17	06 Yokkaichi	30	16 Yokkaichi	31
16 Mitaka	18	06 Ichikawa	45	06 Ichihara	28
16 Ichihara	28	16 Ichikawa	48	06 Shunan ○	15
06 Akita	33	06 Toride	11	06 Kusagai	30
16 Izumo	18	16 Toride	11	06 Tokorozawa	33
06 Kasukabe ○	24	16 Akita	32	06 Matsudo	47
16 Kasukabe	24	06 Izumo	15	06 Matsusaka	17
16 Komaki	15	16 Tokorozawa	34	16 Fukaya	15
16 Ageo	23	06 Oyama	16	16 Narita	13
16 Nevagawa	24	16 Matsudo	49	06 Nishitokyo ○	19
06 Suita	35	16 Matsusaka	17	16 Ome	14
06 Seto	13	16 Matsuyama	52	16 Kurashiki	48
06 Morioka	29	06 Matsumoto	22	06 Asaka	12
16 Morioka	29	16 Matsumoto	24	16 Nagasaki	44
06 Nishinomiya	46	06 Ageo	22	06 Nagano	38
16 Nishio △	17	06 Neyagawa	24	06 Miyakonojo	17
06 Aomori	31	06 Niigata ○	80	06 Tsuchiura ○	14
16 Kawagoe	35	16 Niigata	80	06 Tokai	10
16 Funabashi	63	06 Fukaya ○	15	16 Tokai	11
06 Sagamiyara ○	65	16 Suita	37	06 Tomakomai	17
06 Tajimi	12	16 Seto	13	06 Hachinohe	25
06 Ota ○	21	06 Narita	12	16 Himeji	54
16 Ota	22	16 Nishinomiya	48	06 Fukushima	29
06 Obihiro	11	16 Nishitokyo	20	06 Toyokawa ○	13
16 Chikusei	17	06 Kawagoe	33	16 Toyokawa ○△	19
16 Nagano	38	06 Funabashi	57	16 Toyota	42
06 Tsuyama	10	06 Kurashiki	47	16 Akashi	30
16 Tsuyama	11	16 Sagamiyara ○△	72	16 Nagareyama	18
06 Tsuruoka ○	14	16 Tajimi	11		
06 Tsuruoka	13				
16 Miyakonojo	17				
16 Tsuchiura	14				
16 Fuijeda △	15				
16 Tomakomai	17				
16 Naha	32				
06 Amagasaki	46				
16 Hino	17				
06 Hakusan	11				
06 Onomichi ○	15				
06 Himeji	53				
16 Fuchu	26				

○:1999年～2006年10月1日に合併した市
△:2006年10月1日～2010年3月末(市町村合併特例新法が期限切れ)までに合併した市

Fig.14 Present usage status of the citizen space as per cluster
-Present usage status of the citizen space-

Fig.15 Location of the cities comprising respective clusters
-Present usage status of the citizen space-

れる市民空間の使用方法を「管理上望ましい利用方法」、(4)市民空間はどのような空間であるべきかを「市民空間としての理想」としてキーワードに要約し、表2に示すように分類した。その結果を図10から図13に示す。

各項目について、2006年と2016年との間で、キーワードの出現頻度に見られるか適合度の検定を行った。その結果、図10から図13に示したいずれの項目においても、2006年と2016年との間には、有意な差は認められなかった。つまり、全体としては、この10年間、市庁舎における市民空間に関する問題に大きな変化は見られないといえる。しかし、各項目のキーワードの出現頻度を詳細に分析すると多少の差異が見られる。以下にその内容を示す。

「市民空間の利用の現状」(図10)は、2016年では〈催しもの・展示〉が最も多く、〈待合〉と続く。2006年と比較すると〈空間利用〉と〈空間制限がない〉が2016年で大幅に増加している。「現状の問題点」(図11)では、〈庁舎の老朽化〉は減少しているが、〈空間が狭い〉〈セキュリティ対策〉〈利用制限がある〉などが増加している。市民空間の特性上、〈長期滞在者への対応〉や〈利用者モラル〉など使用上の問題は、この10年間で変化が見られない。〈市庁舎の老朽化〉が減少している背景には、2006年から2016年の間に、調査対象119市のうち20市における新庁舎の建設がある(表7)。「管理上望ましい利用方法」(図12)では、2006年は〈催しもの・展示〉としての使用が多いが、2016年は行政サービスを利用する市民のための〈交流・相談〉〈休憩〉〈待合〉などが重視される傾向が見られた。「市民空間としての理想」(図13)では、〈使いやすい〉が最も多く、〈憩い・くつろぎ〉が続く。2006年と2016年を比較すると、2016年は〈使いやすい〉市民空間が目指されている。また、わ

Table 4 Cities comprising respective clusters
-Current issues concerning the use of the citizen space-

Cluster1			Cluster2			Cluster3			Cluster4		
06 Asahikawa	36		06 Iwaki	36		06 Iwaki	33		06 Iga	10	
16 Asahikawa	35		06 Isehara	10		16 Shimonoseki	27		06 Inazawa	14	
06 Anjo	17		16 Ichinomiya	39		06 Marugame	11		16 Uji	19	
16 Anjo	19		06 Uii	19		06 Kishiwada	20		16 Utsunomiya	52	
16 Iga	9		06 Urayasu	15		06 Kanazawa	44		06 Habikino	12	
16 Isehara	10		06 Yokote	9		06 Kuwana	14		06 Kashiwa	15	
06 Ichinomiya	37		16 Abiko	13		16 Takatsuki	36		06 Chofu	21	
16 Inazawa	14		06 Aizuwakamatsu	13		16 Sasebo	26		16 Chofu	23	
16 Habikino	11		06 Kakamigahara	15		06 Ube	18		16 Chofu	23	
06 Urayasu	15		16 Kakamigahara	15		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Yokote	9		06 Kakegawa	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Abiko	13		16 Kakegawa	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Aizuwakamatsu	13		16 Kamakura	18		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Kakamigahara	15		16 Kamakura	18		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Kakamigahara	15		16 Chigasaki	24		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Kakegawa	12		16 Kishiwada	20		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Kamakura	18		06 Kuro	25		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Kishiwada	20		06 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Kuro	25		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Ebetsu	12		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Ebetsu	12		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Sasebo	26		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Sakura	17		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Sakura	18		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Misato	13		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Misato	13		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Mihara	10		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Mitaka	18		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Mishima	11		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Yamaguchi	19		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Ichihara	28		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Toride	11		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Shunan	15		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Izumo	15		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Kasugai	31		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Kasukabe	24		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Tokorozawa	34		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Oyama	16		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Oyama	17		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Komaki	14		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Matsusaka	17		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Matsuyama	51		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Matsumoto	22		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Matsumoto	24		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Ageo	23		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Neyagawa	24		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Niigata	80		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Fukaya	15		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Suita	37		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Seto	13		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Nishinomiya	48		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Nishio	10		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Aomori	29		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Ome	14		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Kawagoe	33		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Kawagoe	35		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Funabashi	57		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Kurashiki	47		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Ota	21		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Omuta	13		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Chikusei	11		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Chikusei	11		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Chofu	21		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Chofu	23		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Miyakonojo	17		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Fujieda	15		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Naha	31		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Amagasaki	46		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Hino	17		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Hino	18		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Hachioji	56		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Handa	12		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Handa	12		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Iida	11		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Iida	10		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Onomichi	15		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Tovama	42		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Fuji	24		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Tondabayashi	12		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Fuchu	26		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Fukui	27		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Fukushima	29		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
06 Yonago	15		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	
16 Yonago	15		16 Ebetsu	12		16 Ube	17		16 Chofu	23	

○: 1999年～2006年10月1日に合併した市
△: 2006年10月1日～2010年3月末(市町村合併特例新法が期限切れ)までに合併した市

Fig.17 Present usage status of the citizen space as per cluster
-Current issues concerning the use of the citizen space-

Fig.18 Location of the cities comprising respective clusters
-Current issues concerning the use of the citizen space-

Fig.19 Population sizes of the cities comprising respective clusters
-Current issues concerning the use of the citizen space-

ずかではあるが、災害時の活用の検討が伺える。また、「市民空間の利用の現状」(図10)、「管理上望ましい利用方法」(図12)、「市民空間としての理想」(図13)では、〈催しもの・展示〉〈地域活動拠点〉〈情報〉〈憩い・くつろぎ〉〈交流・相談〉〈休憩〉〈待合〉〈飲食〉〈安全・バリアフリー〉〈空間利用〉〈快適〉の11項目が共通であった。

「市民空間の利用の現状」(図10)では、2006年には見られなかった〈利用制限がない〉というキーワードが2016年では全体の約10%を占めるまでに増加している。しかし、「管理上望ましい利用方法」(図12)の項目では、2016年の調査では2006年に比較し、キーワード〈利用制限がない〉に該当する回答が減少し、利用目的を特定した市民空間に関するキーワードの割合が増加している。このことは、この10年間で〈利用制限がない〉市民空間が増加したものの、利用目的を特定した市民空間の方が管理上望ましいとの考え方が増大していることを示している。一方で、「市民空間としての理想」(図13)の項目では、2006年に比較し、2016年では〈使いやすい〉というキーワードの出現頻度が増加している。住民主体の運営や利用といった回答は見られなかったが、市民の視点で利用しやすい空間が望ましいという考え方が広がっているとも読み取ることができる。市民が自由に利用できる市民空間であることと管理上の都合とのバランスがより重要になっていることが分かる。

2-4 市民空間の運用方針と地域・人口規模の関係

前項では、全119市の回答結果を要約して10年間の変化を見たが、ここでは、市民空間の運用方針について地域や人口規模¹⁶⁾によって一定の傾向が見られるのかどうかを分析した。

Table 5 Cities comprising respective clusters
-Desirable use of the citizen space in terms of management-

Cluster1		16 Kariya	15	16 Onomichi	14
06 Asahikawa	36	06 Marugame	11	06 Himeji	53
16 Anjo	19	16 Marugame	11	06 Hamamatsu	79
06 Iga	10	06 Kishiwada	20	16 Hamamatsu	81
16 Isehara	10	16 Kishiwada	20	16 Toyama	42
16 Ichinomiya	39	16 Kanazawa	45	06 Fuji	24
06 Inazawa	14	06 Koshiro	19	16 Fuji	26
16 Utsunomiya	52	16 Koshiro	18	16 Tondabayashi	11
06 Ube	18	16 Kumagaya	20	06 Fuchu	24
06 Habikino	12	06 Kuwana	14	06 Fukui	27
16 Habikino	11	16 Kuwana	14	16 Fukui	27
16 Urayasu	16	06 Kure	25	16 Fukushima	29
06 Yokote	11	16 Ebetsu	12	06 Takarazuka	22
06 Shimonoseki	29	06 Takasaki	34	16 Takarazuka	23
06 Abiko	13	16 Kochi	34	16 Minoh	14
16 Aizuwakamatsu	12	16 Takatsuki	36	06 Akashi	29
06 Kamakura	18	06 Sasebo	26	16 Kisarazu	13
06 Chigasaki	23	16 Sasebo	26	16 Noda	16
06 Kariya	14	06 Sakura	17		
06 Kumagaya	19	16 Sakura	18		
06 Imabari	18	06 Zama	13		
06 Mihara	10	16 Zama	13		
06 Mitaka	17	06 Misato	13		
06 Yokkaichi	30	16 Mihara	10		
16 Yokkaichi	31	16 Mitaka	18		
06 Ichihara	28	06 Mishima	11		
06 Kasugai	30	16 Mishima	11		
06 Kasukabe	24	06 Yamaguchi	19		
16 Kasukabe	24	06 Yamaguchi	19		
06 Tokorozawa	33	16 Ichihara	28		
06 Matsudo	47	06 Ichikawa	45		
06 Matsusaka	17	06 Toride	11		
06 Ageo	22	16 Shunan	15		
06 Nevagawa	24	16 Akita	32		
16 Fukaya	15	06 Izumo	15		
06 Narita	12	16 Izumo	18		
16 Narita	13	16 Kasugai	31		
06 Nishitokyo	19	16 Tokorozawa	34		
16 Ome	14	06 Oyama	16		
16 Kurashiki	48	16 Oyama	17		
16 Omuta	12	06 Komaki	14		
06 Asaka	12	06 Matsuyama	51		
06 Nagasaki	46	06 Matsumoto	22		
16 Nagasaki	44	16 Matsumoto	24		
06 Nagano	38	16 Neyagawa	24		
06 Tsuyama	11	06 Niigata	80		
06 Miyakonojo	17	06 Fukaya	15		
06 Tsuchiura	14	16 Suita	37		
06 Tokai	10	16 Seto	13		
06 Tomakomai	17	06 Morioka	29		
16 Tomakomai	17	16 Morioka	29		
06 Hino	17	06 Nishinomiya	46		
06 Hachinohe	25	16 Nishinomiya	48		
16 Himeji	54	16 Nishitokyo	20		
06 Toyama	42	06 Aomori	31		
06 Fukushima	29	16 Kawagoe	35		
06 Toyokawa	13	06 Funabashi	57		
16 Toyokawa	19	16 Funabashi	63		
06 Toyota	40	06 Kurashiki	47		
16 Toyota	42	06 Sagami-hara	65		
06 Akashi	30	16 Taijima	11		
06 Kisarazu	12	06 Ota	21		
16 Nagarevama	18	06 Obihiro	17		
		16 Obihiro	17		
		06 Otsu	32		
		06 Omuta	13		
		06 Chikusei	11		
		16 Chikusei	11		
		16 Chofu	23		
		16 Tsuyama	10		
		16 Miyakonojo	17		
		16 Tsuchiura	14		
		16 Tokai	11		
		06 Fujieda	13		
		16 Naha	32		
		06 Amagasaki	46		
		16 Amagasaki	46		
		16 Hino	18		
		06 Hakusan	11		
		16 Hachioji	56		
		16 Hachinohe	24		
		06 Handa	12		
		06 Iida	11		
		16 Iida	10		
		06 Onomichi	15		

○: 1999年～2006年10月1日に合併した市
△: 2006年10月1日～2010年3月末(市町村合併特例新法が期限切れ)までに合併した市

Fig.20 Present usage status of the citizen space as per cluster
-Desirable use of the citizen space in terms of management-

Fig.21 Location of the cities comprising respective clusters
-Desirable use of the citizen space in terms of management-

Fig.22 Population sizes of the cities comprising respective clusters
-Desirable use of the citizen space in terms of management-

「市民空間の利用の現状」についての回答結果をクラスター分析し、2006年、2016年それぞれの119市を4つに分類した。その結果を表3に示す。クラスター分析では、個体間の距離はユークリッド距離を用い、ウォード法によって距離計算を行った。表3では、各個体の識別子として、調査年、市の名称、万人単位で示した人口を記載している。例えば、「06 Iwaki 36」は、2006年のいわき市の回答結果で人口36万人であることを示している。また太字の斜体での表記は、2006年と2016年とで同一市が同一クラスターに属していることを示している。つまり、10年間で回答内容に変化が見られない市ということになる。識別子に○を付けた個体は、1999年から2006年10月1日までに合併した市を、△を付けた個体は、2006年10月1日から2010年3月末までに合併した市をそれぞれ示している。10年間で回答に大きな変化がなかった市は、クラスター1では0%、クラスター2では17%、クラスター3では27%、クラスター4では7%であり、大半の市は10年間で回答傾向が変化している。各クラスターに該当する市の平均的な回答結果を図14に示す。クラスター1は〈特になし〉、クラスター2は〈催しもの・展示〉〈情報〉〈地域活動拠点〉、クラスター3は〈待合〉〈休憩〉〈催しもの・展示〉〈交流・相談〉〈憩い・くつろぎ〉〈空間利用〉、クラスター4は〈特になし〉が多い傾向にある。図15は、各クラスターを構成する市がどの地域に存在しているかを示している。クラスター1では関東地方がやや少なく、クラスター2では関東地方がやや多いが、全体としては、クラスター間で地域との明確な関係は見られない。図16は、各クラスターを構成する人口規模を表している。各クラスターを構成する人口規模の割合は、ほぼ共通しており、クラスターと市の人口

Table 6 Cities comprising respective clusters
-Ideal use of the citizen space-

Cluster1			Cluster2		
06 Asahikawa	36		16 Iwaki	33	
16 Anjo	19		06 Anjo	17	
06 Iga	10		16 Iga	9	
16 Isehara	10		06 Isehara	10	
16 Ichinomiya	39		16 Inazawa	14	
06 Inazawa	14		06 Uii	19	
16 Utsunomiya	52		06 Urayasu	15	
06 Ube	18		06 Utsunomiya	11	
06 Habikino	12		16 Abiko	13	
16 Habikino	11		16 Kakamigahara	15	
16 Urayasu	16		06 Marugame	20	
06 Shimonoseki	29		16 Kishiwada	20	
06 Abiko	13		06 Kanazawa	44	
16 Aizuwakamatsu	12		16 Kanazawa	45	
06 Kamakura	18		06 Kashiwa	19	
06 Chigasaki	23		16 Kumagaya	20	
06 Kariya	14		06 Kuwana	14	
06 Kumagaya	19		16 Kuwana	14	
06 Kure	25		16 Kure	23	
06 Takatsuki	35		06 Ebetsu	12	
06 Imabari	18		06 Takasaki	34	
06 Mihara	10				
06 Mitaka	17				
06 Yokkaichi	30				
16 Yokkaichi	31				
06 Ichihara	28				
16 Kasukabe	24				
06 Tokorozawa	33				
06 Matsudo	47				
06 Matsusaka	17				
06 Neyagawa	24				
16 Fukaya	15				
06 Narita	12				
16 Narita	13				
06 Nishitokyo	19				
16 Ome	14				
16 Kurashiki	48				
16 Omuta	12				
06 Asaka	12				
06 Nagasaki	48				
16 Nagasaki	44				
06 Nagano	38				
06 Tsuyama	11				
06 Miyakonojo	17				
06 Tsuchiura	14				
06 Tokai	10				
06 Tomakomai	17				
16 Hino	18				
06 Hachinohe	25				
16 Himeji	54				
06 Toyama	42				
06 Fukushima	29				
06 Toyokawa	13				
16 Toyokawa	19				
16 Toyota	42				
16 Kisarazu	12				
16 Nagarevama	18				
Cluster3			Cluster4		
06 Koshi	33		06 Iwaki	36	
16 Koshi	34		16 Uii	19	
16 Takatsuki	36		06 Utsunomiya	45	
16 Imabari	16		06 Kawachinagano	12	
06 Sakura	17		06 Aizuwakamatsu	13	
16 Sakura	18		16 Kamakura	18	
16 Zama	13		16 Chigasaki	24	
16 Misato	14		16 Kashiwa	18	
16 Mitaka	18		16 Sagami	22	
06 Yamaguchi	19		06 Zama	13	
16 Ichihara	28		06 Misato	13	
06 Ichikawa	45		16 Mishima	11	
16 Ichikawa	48		06 Shunan	15	
06 Toride	11		16 Matsudo	49	
16 Toride	11		06 Otsu	32	
06 Shunan	15		16 Otsu	34	
06 Akita	33		06 Aomori	29	
16 Akita	32		16 Ota	22	
06 Izumo	15		06 Obihiro	17	
16 Izumo	18		06 Otsu	32	
06 Kasugai	30		16 Otsu	34	
16 Kasugai	31		06 Omuta	13	
06 Kasukabe	24		16 Asaka	14	
16 Tokorozawa	34		06 Chofu	21	
06 Suita	35		16 Tsuyama	10	
06 Seto	13		06 Tsuruoka	14	
16 Seto	13		16 Tokai	11	
06 Nishinomiya	48		16 Fudeta	15	
06 Nishio	10		06 Naha	31	
06 Aomori	31		16 Naha	32	
16 Aomori	29		16 Amagasaki	46	
06 Ome	14		16 Hakusan	11	
06 Kawagoe	33		06 Hachioji	54	
16 Kawagoe	35		16 Hachioji	58	
06 Funabashi	63		16 Hachinohe	24	
16 Sagami	72		16 Handa	12	
06 Tajimi	12		06 Hamamatsu	79	
16 Tajimi	11		16 Hamamatsu	81	
06 Ota	21		06 Fuji	24	
16 Ota	22		16 Fuji	26	
06 Obihiro	17		16 Tondabayashi	11	
06 Otsu	32		06 Yonago	15	
16 Otsu	34		06 Takarazuka	22	
06 Omuta	13		16 Takarazuka	23	
16 Asaka	14		06 Toyota	40	
06 Chofu	21		06 Minoh	14	
16 Tsuyama	10				
06 Tsuruoka	14				
16 Tokai	11				
16 Fudeta	15				
06 Naha	31				
16 Naha	32				
16 Amagasaki	46				
16 Hakusan	11				
06 Hachioji	54				
16 Hachioji	58				
16 Hachinohe	24				
16 Handa	12				
06 Hamamatsu	79				
16 Hamamatsu	81				
06 Fuji	24				
16 Fuji	26				
16 Tondabayashi	11				
06 Yonago	15				
06 Takarazuka	22				
16 Takarazuka	23				
06 Toyota	40				
06 Minoh	14				
16 Minoh	14				

○: 1999年～2006年10月1日に合併した市
△: 2006年10月1日～2010年3月末(市町村合併特例新法が期限切れ)までに合併した市

Fig.23 Present usage status of the citizen space as per cluster
-Desirable use of the citizen space in terms of management-

Fig.24 Location of the cities comprising respective clusters
-Ideal use of the citizen space-

Fig.25 Population sizes of the cities comprising respective clusters
-Ideal use of the citizen space-

規模との間には明確な関係は見られない。また、クラスターと合併の有無の間にも明確な関係は見られない。

「現状の問題点」について、同様に分析した結果を表4に示す。10年間で回答に変化が見られない市は、クラスター1では21%、クラスター2では15%、クラスター3では5%、クラスター4では10%であった。各クラスターに該当する市の平均的な回答結果(図17)の特徴は、クラスター1は〈空間が狭い〉〈庁舎の老朽化〉〈空間の未確保〉、クラスター2は〈長期滞在者への対応〉〈セキュリティ対策〉〈利用制限がある〉〈利用者モラル〉、クラスター3は〈特に問題点はなし〉、クラスター4は〈無回答〉が多い傾向にある。図18に各クラスターを構成する地域、図19に人口規模を示す。クラスター3で東北、20～30万人が多いが、全体として、クラスターと地域、人口規模、合併の有無の間で明確な関係は見られない。

「管理上望ましい利用方法」についての分析結果を表5に示す。10年間で回答に変化が見られない市は、クラスター1では15%、クラスター2では28%、クラスター3では0%、クラスター4では0%であった。各クラスターに該当する市の平均的な回答結果(図20)では、クラスター1は〈無回答〉、クラスター2は〈情報〉〈憩い・くつろぎ〉〈交流・相談〉〈催しもの・展示〉〈セキュリティ対策〉、クラスター3は〈利用制限がない〉〈セキュリティ対策〉、クラスター4は〈休憩〉〈待合〉が多い傾向にある。各クラスターを構成する地域を図21、人口規模を図22に示す。それぞれの割合はほぼ共通しており、全体として、クラスターと地域、人口規模、合併の有無の間で明確な関係は見られない。

「市民空間としての理想」についての分析結果を表6に示す。10年間で回答に変化が見られない市は、クラスター1では10%、クラス

ター2では36%、クラスター3では9%、クラスター4では11%であった。各クラスターに該当する市の平均的な回答結果(図23)は、クラスター1は〈無回答〉〈その他〉、クラスター2は〈使いやすい〉〈安全・バリアフリー〉〈快適・居心地〉、クラスター3は〈情報〉〈交流・相談〉〈地域活動拠点〉〈使いやすい〉、クラスター4は〈憩い・くつろぎ〉〈使いやすい〉〈交流・相談〉が多い傾向にある。クラスターを構成する地域を図24、人口規模を図25に示す。クラスター3で関東が少ないが、全体として、クラスターと地域、人口規模、合併の有無の間で明確な関係は見られない。

以上のように、市民空間の運用方針についての回答結果は、市の所在地や人口規模による一定の特徴は見られなかった。また、119市全体で2006年と2016年とを比較すると、市民空間の運用方針に10年間で大きな変化はなかったが、個別に見ると、回答に大きな変化がない市は少数であった。これは10年間で管理部署の担当者が入れ替わり、問題の細かな捉え方や回答の際の表現の差異によって生じた可能性がある。

2-5 自然災害に伴う市庁舎および市民空間の使用に関する変化

ひとたび自然災害が発生すると市庁舎を取り巻く状況が一変する。そのため、2016年のアンケートに追加した質問事項として、(1)近年の自然災害に伴い、市庁舎(本庁舎)を使用する上で変化した事項の有無、(2)近年の自然災害に伴い、市民空間を使用する上で変化した事項の有無について、自由記述による回答を得た。その結果を図26に示す。「変化あり」は、市庁舎が40.0%(48件)、市民空間が18.4%(22件)であった。「変化なし」は、市庁舎が40.0%(48件)、市民空間が56.3%(67件)であった。市庁舎は「変化あり」と「変化なし」が同数である。各項目のキーワードの出現頻度を分析すると、市庁舎は、〈耐震診断〉〈耐震〉〈免震〉といった地震対策や防災拠点としての整備が進んでいる。一方で市民空間については、「変化あり」は「変化なし」の約1/3にとどまっている。市民空間を市民の〈避難場所〉、災害時の〈炊出しのスペース〉、帰宅難民の〈待機場所〉といった災害の際には市民を受け入れる場所、報道機関への情報提供場と活用を検討している市がある一方で、災害対策本部や災害時に業務を継続すべき事務を行う場であり、避難所にすべきではないとの回答もあった。この点については、個々の市によって対応が異なり、模索段階であることが分かる。

市庁舎および市民空間の使用に市庁舎竣工年が影響する可能性が高いことから、市庁舎および市民空間の使用に関する変化の有無と市庁舎竣工年の関係を検討した。その結果を図27に示す。市庁舎では、1960年代竣工は「変化あり」が多く、1970年代竣工になると「変化なし」が多くなる。1960年代竣工の市庁舎を今後も使い続けるためには、耐震診断および耐震工事等、地震に対する備えが避けて通れない状況であることが読み取れる。市民空間では、2010年代竣工は「変化あり」が多いことから、新しい市庁舎ほど様々な試みがなされていることが分かる。市庁舎の竣工年が2006年以前の市庁舎では、自然災害時に市庁舎を防災拠点として活用するとした回答は6%に留まったが、2006年以降に竣工の市庁舎を有する市の20%は、防災拠点との活用を想定している。市民空間の避難場所としての活用についても同様に、2006年以降竣工の市庁舎を有する市の方が高い割合で想定している(表7)。しかし、2006年から2016年に市庁舎が建て替えられた市は、調査対象119市のうち20市であり、約17%に留まっている。

Fig.26 Changes of use of the city hall and citizen space at the time of natural disaster

Fig.27 Relationship between the change of use of the city hall and citizen space at the time of natural disaster and the completion date of the city hall

Table 7 Use of the city hall and citizen space at the time of natural disaster

竣工年 Building ages	市庁舎数 Number of city hall	市庁舎 City hall 防災拠点 Disaster prevention base	市民空間 Citizen space 避難場所 Evacuation site
2006年以前 Before 2006	99件(19件)	6件 6%	4件 4%
2006～2016年 From 2006 to 2016	20件	4件 20%	2件 10%

(): 2016年以降に新庁舎建設予定市庁舎
New city hall will be built after 2016

3. まとめ

本研究では、2006年と2016年に実施したアンケート結果を比較し、市庁舎の市民空間の10年間の変化を考察した。その結果、全体としては、市庁舎の市民空間の使われ方には、大きな変化は見られなかったが、詳細に比較すると、利用制限のない市民空間が増加する傾向が見られた。これは、市民にとっては望ましい変化と考えられるが、管理部署担当者は、市民空間の管理の困難さが増大することを懸念している。地域や人口規模とアンケート回答結果との関係を分析したが、一定の傾向は見られなかった。このことから、市民空間の利用の変化は、地域性に影響されない普遍的なものであると考えられる。また、市庁舎の防災拠点としての活用や市民空間を避難場所としての活用については、竣工年の新しい市庁舎を有する市がより積極的であることから、市庁舎の建て替えの際には、自然災害への対応の重要性が認識されていることがわかる。2016年2月内閣府(防災担当)から「大規模災害時における地方公共団体の業務継続の手引き」等も^{17,18)}交付されており、住民への公共サービスのあり方も変化しつつある。ただし、市庁舎の建て替えには一定の時間を要することから、さらに時間を経た後に同様の調査を行い、比較分析する必要がある。

謝辞

アンケート調査にご協力賜った市庁舎管理部局の方々に深謝申し上げます。

参考文献

- 1) Funabiki, E. et al.: Comparison between the present situation of space for citizens in city halls found from a questionnaire survey and positional relationship of citizens space -Study on ideal way of citizen spaces of city halls Part 2, Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ), Vol. 74 No. 639, pp.1037-1042, 2009.5 (in Japanese)
船曳悦子, 松本直司, 田川哲郎, 櫻木耕史, 仁木智也: アンケートに基づく市民空間の現状とその位置関係との比較-市庁舎建築における市民空間のあり方に関する研究 その2-, 日本建築学会計画系論文集, 第74巻, 第639号, pp. 1037-1042, 2009. 5
- 2) Cabinet Office Disaster Prevention Information: Disaster Prevention Measures in Municipalities, 2017. 04. 01 (in Japanese)
内閣府防災情報: 市町村における防災対策について, http://www.bousai.go.jp/kaigirep/kentokai/bousai_specialist2/01/pdf/shiryo5.pdf, 2017. 04. 01
- 3) Kikuchi, K. and Katsura, H.: A study on district-facilities and government office building maintenance in Kumamoto prefecture -A case study of municipalities adopted government decentralize, Summaries of Technical Papers of Annual Meeting, Architectural Institute of Japan, Architectural Planning and Design, pp. 507-508, 2012.7 (in Japanese)
菊地健太郎, 桂英昭: 熊本県における庁舎建築整備と地域施設に関する研究 -分庁方式採用の合併市町村を事例として-, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築計画, pp. 507-508, 2012. 7
- 4) Yamazaki, T. et al.: Transformation of Local Government Office Function and Management with the Consolidation of Municipalities in Kanto-Area, Summaries of Technical Papers of Annual Meeting, Architectural Institute of Japan, Architectural Planning and Design, pp. 407-408, 2011. 7 (in Japanese)
山崎俊裕, 村上文昭, 伊藤芳和: 市町村合併に伴う関東圏の自治体庁舎機能と運営の変化について, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築計画, pp. 407-408, 2011. 7
- 5) Morisada, R. et al.: Study on Center City Revitalization associated with the City Hall, Research report collection of Chugoku Branch, No. 40, pp.823-826, 2017. 3 (in Japanese)
森定稜太, 鰐心治, 小林剛士, 宋俊煥, 矢野淳一: 市街地再生からみた全国の庁舎建て替え手法に関する研究, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第40号, pp. 823-826, 2017. 3
- 6) Cho, T. and Tsunoda, M.: A Study on the Actual Condition of Renewal Method and it's Selection Process of Government Office Buildings, Summaries of Technical Papers of Annual Meeting, Architectural Institute of Japan, Architectural System and Management, pp. 251-252, 2017. 7 (in Japanese)
長俊輝, 角田誠: 市区町村庁舎の更新手法の実態と手法選択に関する調査研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築社会システム, pp. 251-252, 2017. 7
- 7) Katoh, A. et al.: Analysis on Adaptive Reuse of City Halls in Local Cities, Research report collection of Chugoku Branch, No. 40, pp. 683-686, 2017.3 (in Japanese)
加藤陽葉, 内田文雄, 宋俊煥: 地方都市の市庁舎建築におけるコンバージョンの実態に関する研究, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第40号, pp. 683-686, 2017. 3
- 8) Mitsuhashi, N.: A Study on the Consensus Building Process of City Office Renewal Project due to the Earthquake Disaster: A Case of O City, Tochigi Pref, Summaries of Technical Papers of Annual Meeting, Architectural Institute of Japan, Rural Planning, pp. 121-122, 2012. 7 (in Japanese)
三橋伸夫: 震災を契機とした市庁舎整備の検討プロセス-栃木県O市の事例-, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 農村計画, pp. 121-122, 2012. 7
- 9) Takada, K. and Nozawa, C.: Actual state and issues of initiatives for this government building in municipal disaster BCP: Questionnaire survey for municipalities in the three metropolitan areas, Summaries of Technical Papers of Annual Meeting, Architectural Institute of Japan, Urban Planning and Design, pp. 909-910, 2017. 7 (in Japanese)
高田晃希, 野澤千絵: 市町村の災害時のBCPにおける本庁舎に対する取り組みの実態と課題-三大都市圏の市町村に対するアンケート調査に基づく-, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 都市計画, pp. 909-910, 2017. 7
- 10) Funabiki, E. et al.: Comparison of the operation policy for citizen space and the floor planning characteristics in city halls analyzed by applying the space syntax theory: Study on ideal way of citizen spaces of city halls Part 3, Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ), Vol. 74 No. 645, pp. 2357-2362, 2009. 11 (in Japanese)
船曳悦子, 松本直司, 田川哲郎, 櫻木耕史, 仁木智也: 市民空間の運用方針とスペースシンタックス理論を応用して分析した市庁舎の平面特性との比較-市庁舎建築における市民空間のあり方に関する研究 その3-, 日本建築学会計画系論文集, 第74巻, 第645号, pp. 2357-2362, 2009. 11
- 11) Ministry of Internal Affairs and Communications: The state-by-scale fiscal power index of the municipalities and the situation of the real balance, Local finance white paper 2005 version, http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/hakusyo/chihou/17data/index.html, 2019. 06. 09 (in Japanese)
総務省編: 市町村の規模別財政力指数及び実質収支比率の状況, 地方財政白書, 平成17年度版, 2005, http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/hakusyo/chihou/17data/index.html, 2019. 06. 09
- 12) Funabiki, E. and Matsumoto, N.: Changes in Usage of City Halls and Their Spaces for Citizens: Study on the Space for Citizens in City Halls 8, Summaries of Technical Papers of Annual Meeting, Architectural Institute of Japan, Architectural Planning and Design, pp. 467-468, 2017. 7 (in Japanese)
船曳悦子, 松本直司: 市庁舎および市民空間の利用に関する変化-市庁舎建築における市民空間の研究8-, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築計画, pp. 467-468, 2017. 7
- 13) Funabiki, E. et al.: Changes in the Operation Policy of City Halls and Their Spaces for Citizens: Study on the Space for Citizens in City Halls 9, Summaries of Technical Papers of Annual Meeting, Architectural Institute of Japan, Architectural Planning and Design, pp. 519-520, 2018. 7 (in Japanese)
船曳悦子, 片山一郎, 松本直司: 市庁舎および市民空間の運用方針に関する変化-市庁舎建築における市民空間の研究9-, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築計画, pp. 519-520, 2018. 7
- 14) Municipal autonomy study group: Heisei era 18 version nationwide municipal handbook, Dai-ichihoki, 2006 (in Japanese)
市町村自治研究会: 平成18年度版全国市町村要覧, 第一法規, 2006
- 15) Ministry of Finance: Ministerial ordinance on the useful life etc. of depreciable assets, 2016. 3. 31 (in Japanese)
財務省: 減価償却資産の耐用年数等に関する省令, 平成二八年三月三十一日財務省令第二七号別表第一, 機械及び装置以外の有形減価償却資産の耐用年数表, <http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S40/S40F03401000015.html>, 2017. 04. 01
- 16) Municipal handbook editing committee: Heisei era 28 version nationwide municipal handbook, Dai-ichihoki, 2016 (in Japanese)
市町村要覧編集委員会: 平成28年度版全国市町村要覧, 第一法規, 2016
- 17) Cabinet Office (in charge of disaster prevention): Guidance of business continuity of local public entity at the time of large scale disaster, 2016 (in Japanese)
内閣府(防災担当): 大規模災害時における地方公共団体の業務継続の手引き, 2016年2月, <http://www.bousai.go.jp/taisaku/chihogyomukeizoku/pdf/H28tebiki.pdf>, 2019. 06. 14 (in Japanese)
- 18) Cabinet Office (in charge of disaster prevention): Guidelines on Disaster Relief System for Local Governments, 2016 (in Japanese)
内閣府(防災担当): 地方公共団体のための災害時受援体制に関するガイドライン, 2016年3月, http://www.bousai.go.jp/taisaku/chihogyomukeizoku/pdf/jyuen_guidelines.pdf, 2019. 06. 14

TRANSITIONAL CHANGE IN THE USE OF CITIZEN SPACES IN CITY HALLS OBSERVED THROUGH QUESTIONNAIRE SURVEYS CONDUCTED IN 2006 AND 2016

Etsuko FUNABIKI^{*1}, *Ichiro KATAYAMA*^{*2} and *Naoji MATSUMOTO*^{*3}

^{*1} Assoc. Prof., Architecture and Environmental Design Dept., Faculty of Design Technology, Osaka Sangyo Univ., Dr.Eng.

^{*2} Assoc. Prof., Dept. of Human Factors Engineering and Environmental Design, Faculty of Biology-Oriented Science and Technology, Kindai Univ., Ph.D.

^{*3} Prof. Emeritus, Nagoya Institute of Technology, Dr.Eng.

In order to find out the existential values of city halls, which are designed to function as the hub of community life, the second questionnaire survey conducted in 2016 following the first survey in 2006 included additional questions about whether the usage of citizen space has changed before and after the experiences of natural disasters.

Through the observation of transitions in a decade, the study identified, as a whole, no significant changes in the way city halls and citizen spaces were used in 2006 and 2016. Also, no characteristic differences depending on localities or population sizes were identified. The roles of citizen spaces in city halls in the daily life of community residents are identified to remain stable and not to be significantly affected by experiences of natural disasters or time within the span of a decade.

From answers to the question in the 2016 survey about the use of city halls and citizen spaces in connection with natural disasters, no nationwide trend was identified, as each municipality treated public spaces differently during emergencies.

(2019年2月10日原稿受理, 2019年7月31日採用決定)